

### 第3学年国語科学習指導案

指導期間 平成16年8月30日～9月15日  
指導学級 花巻市立湯本中学校第3学年  
A組 男子 22名 女子 16名 計 38名  
B組 男子 23名 女子 16名 計 39名  
指導者 富永秀寿(長期研修生)

#### 1 単元名 情報社会をみつめる 「マスメディアを通じた現実世界」

#### 2 単元について

##### (1) 単元について

本単元は、情報の受け手として、マスメディアからの情報が現代社会で果たす役割や、無意識のうちに関与している影響力を認識し、さらには、パソコン通信などによる情報発信の主体として、自己の表現に対する責任を自覚することをねらいとしている。

なお、本単元の指導に当たって、学習指導要領の第2学年及び第3学年の「読むこと」のイ「書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること」、ウ「表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと」に基づき、豊かな言語感覚の育成に取り組むものである。

##### (2) 教材について

「マスメディアを通じた現実世界」は、テレビというマスメディアを通して、人々がまるで一つの村の住人であるかのように、世界全体の話題、動向に配慮して生きる現代社会の姿を浮き彫りにする。筆者は、テレビが決して「現実の鏡」でないことを認識し、そこから情報がどのような送り手の意図のもと、どんな表現効果をもって送り出されているのかをよく認識する必要があることを訴える。さらには、身近にいる人たちとの語り合いこそが、メディアから間接的に得た情報の現実性や意味合いを実感していくうえで欠かせないことを伝える。

本教材は、調査結果などを踏まえ専門的な見地から分析した論説文で、だれもがいつでも経験しうる具体的な事例をもとに、深い洞察に基づく見解が述べられている。

##### (3) 生徒について

まじめで落ち着いた生徒が多い。男子は少々幼いところがあるが、授業中の受け答えが素直である。特に女子の学習成績は抜群である。この学年全体にいえることだが、授業の課題に対しては活発に答えるものの、場面や状況に応じて自分の意見や心情を適切な言葉で表現することが苦手である。これは、様々な文章の中で具体的な表現をとおして内容を的確に読み取ったり、表現の効果を実感したりする言語感覚が十分に育成されていないことによるものと考えられる。

なお、実態調査からは、64.9%の生徒が話し合うことにあまり抵抗感をもっていないことが分かっている。

##### (4) 指導にあたって

指導にあたって、本単元では、言語感覚をとらえる視点を明確にし、教材文の読解指導の中で表現の正誤・適否・美醜など生徒自身の言語感覚に気付かせる相互評価を取り入れた表現活動を行うことによって、豊かな言語感覚の育成に迫りたいと考える。

生徒自らの言語感覚に気付かせるために、生徒一人一人が表現の正誤・適否・美醜の視点をもと

に設定した課題に取り組むことが大切である。自分なりの言語感覚のとらえをしっかりとらせることで、後の相互評価が活発なものになり、級友及び自分の言語感覚に気付いていくことにつながる。なお、課題には学習シートを活用して取り組ませたい。

言語感覚をとらえるための相互評価においては、個別に取り組む学習シートを活用し生徒自身の言語感覚について振り返らせることで、互いの言語感覚の優れたところや豊かさに気付くことができると考える。学習形態は、3～4人の小グループが適当と考えられ、それは実態調査によって裏付けられている。教師が生徒の相互評価を共感的に受容しながらも適切なアドバイスを与えることにより、一層豊かな言語感覚の育成が図られると考える。

## 5 単元の目標

文中の表現の特徴について理解し、文章の展開に即して筆者の考えをとらえることができる。(読むこと)

- ・ 適切な文・文章から表現の正誤に気付くことができる。(言語感覚)
- ・ 特徴的な表現から表現の適否・美醜に気付くことができる。(言語感覚)

## 6 単元の指導計画(全5時間)

第一次 課題の把握(1時間)

- ・ 学習目標をもつ ..... 1時間

第二次 課題の追究(3時間) ... 表現の特徴から筆者の意図を理解する

- ・ 第1段落課題追究 ..... 1時間
- ・ 第2段落課題追究 ..... 1時間
- ・ 第3段落課題追究 ..... 1時間

第三次 学習のまとめ(1時間)

- ・ 要旨をまとめ、感想を書く ..... 1時間

## 7 評価について

	評価規準	具 体 の 評 価 基 準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)の生徒へ支援
読むこと	文中の表現の特徴について理解し、文章の展開に即して筆者の考えをとらえる	文中の表現の特徴から要旨をまとめ、筆者の主張に対して自分の意見をもっている	文脈に即して読み、難語句等の意味から文章の要旨をまとめている	難語句、キーワードのとらえ方を指導する
言語感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な文・文章から表現の正誤に気付く</li> <li>・ 特徴的な表現から表現の適否・美醜に気付く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例文から表現の正誤について理解し、それを意識して音読している</li> <li>・ 比喩や抽象的な概念を表す語など特徴的な表現の効果について理解している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例文から表現の正誤に気付いている</li> <li>・ 比喩や抽象的な概念を表す語など特徴的な表現を見つけている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表現の特徴を見つける視点を再度確認させながら、表現の正誤・適否・美醜に関わる特徴を明らかにさせる</li> </ul>

8 展開案<第1時>

(1) 目標

- ・学習のねらいを理解し、視点例から表現の特徴に即した読みをすることができる。

(2) 展開

	学習過程	学 習 活 動	評価及び指導上の留意点
導 入  5 分	1 学習のねらいを理解する。	1 学習のねらいを理解する ・表現には、各表現者の意図が表われること、読者に伝えようと様々な工夫がされていることを理解する 2 学習課題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">表現の特徴に即した読み取りをしていこう</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マスメディアをとおした現実世界」の中で、表現や文章の展開の特徴をとおして筆者の考えにせまることを確認する</li> <li>・学習シートで確認させる</li> </ul>
展 開  3 5 分	2 題名から筆者の意図に迫る(表現の美醜をとらえる力の育成)  3 範読・黙読  4 音読(表現の正誤をとらえる力の育成)	2 「マスメディアを通した現実世界」という表現から筆者の意図について考える  3 「マスメディア通した現実世界」がただの「現実世界」とどう違うのかという視点をもって、全文を読み通す ・範読 4 音読練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シートに記入させる</li> <li>・特に「～を通した」という表現に着目させる</li> <li>* 表現の工夫をとおして、表現の美醜をとらえる力を育成する 小グループで相互評価させる</li> <li>・前半部、後半部、結論部の3段構成を確認する</li> <li>・範読後、題名に込められた筆者の意図について確認する ペアで相互評価しながら、音読練習をさせる</li> <li>* 正確な音読をとおして、表現の正誤をとらえる力を育成する</li> </ul>
終 末  1 0 分	5 難語句から筆者の意図に迫る(美醜をとらえる力の育成) 6 自己評価 7 次時の予告と課題提示	5 本文中から、筆者の意図に関係すると思われる難語句を拾い出して、その意味を考える  6 本時の学習について自己評価する 8 次時の学習内容を確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 各自が選んだ難語句をとおして、表現の適否・美醜をとらえる力を育成する</li> <li>・学習シートに記入させ、考えさせる 学習シートで自己評価させる</li> <li>・次時への意欲を大切にさせる</li> </ul>

(3) 評価...視点例を理解し、表現の特徴に注意して読むことができたか。

9 展開案<第2時>

(1) 目標

・前半部の表現の特徴について理解し、文章の展開に即して筆者の考えをとらえることができる。

(2) 展開

	学習過程	学 習 活 動	評価及び指導上の留意点
導 入 7 分	1 漢字の確認 2 学習課題の把握	1 新出漢字等を確認する 2 学習課題を把握する 前半部の表現の特徴から筆者の考えを読み取る	・フラッシュカードで確認する ・よりよい表現を身につけることをめざしていくことを確認する ・学習シートを配布する
展 開 2 3 分	2 音読及び例示 (表現の正誤をとらえる力の育成) 3 課題追究1 (表現の美醜をとらえる力の育成) 4 課題追究2 (表現の適否・美醜をとらえる力の育成)	2 前半部(形式段落1~9)を読み、よりよい表現について考える (1) 例文の正誤について理解する (2) 形式段落1~9を音読する 3 「地球村」に換わる表現を考え、発表し合うことによって、表現の効果について考える 4 それ以外の筆者の意図の込められた表現の効果について考える ・効果的に使われている表現を抜き出し、グループごとに相互評価する	・正確な音読を心がけさせる ・学習シートに記入させる ペアで相互評価させる * 音読と例文の学習をとおして、表現の正誤をとらえる力を育成する * 「地球村」という表現をとおして、表現の美醜をとらえる力を養う ・学習シートに記入させる 小グループで相互評価させる ・学習シートに記入させる ・各自が選んだ表現をとおして、表現の適否・美醜をとらえる力を育成する 小グループで相互評価させる
終 末 2 0 分	5 まとめ 6 自己評価 7 次時の予告と課題提示	5 前半部の要点をまとめる ・相互評価し合った表現を学級全体で出し合い、それをもとに前半部の要点をまとめる 6 本時の学習について自己評価する 7 次時の学習内容を確認する	・学習シートに記入させる ・要点をまとめる際には、字数制限をする。(50字以内) 学習シートで自己評価させる ・次時への意欲を大切にさせる

(3) 評価...前半部の表現の特徴から、筆者の意図をとらえることができたか。

10 展開案 < 第 3 時 >

(1) 目 標

・後半部の表現の特徴について理解し、文章の展開に即して筆者の考えをとらえることができる。

(2) 展 開

	学習過程	学 習 活 動	評価及び指導上の留意点
導 入 4 分	1 新出漢字等の確認 2 前時の想起 3 学習課題の把握	1 新出漢字等の読みを確認する 2 生徒の「地球村」の言い換えを確認する 3 学習課題を把握する 後半部の表現の特徴から筆者の考えを読み取ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラッシュカードで確認する</li> <li>・言い換えを紹介する</li> <li>・学習シートを配布する</li> </ul>
展 開 3 6 分	4 音読及び例示 (表現の正誤をとらえる力の育成) 5 課題追究 1 (表現の美醜をとらえる力の育成) 6 課題追究 2 (表現の適否・美醜をとらえる力の育成)	4 後半部(形式段落 10~20)を読み、よりよい表現について考える (1) 例文の正誤について理解する (2) 形式段落 10~20 を音読する 5 「現実の鏡」という表現をとおして、マスメディアを過信していることを読み取る ・「現実の鏡」に換わる表現を考え、発表し合うことによって、表現の効果について考える 6 それ以外の筆者の意図の込められた表現の効果について考える ・効果的に使われている表現を抜き出し、グループごとに相互評価する ・相互評価し合った表現を学級全体で確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 音読と例文の学習をとおして、表現の正誤をとらえる力を育成する</li> <li>・正確な音読を心がけさせる</li> <li>・学習シートに記入させる</li> <li>* 「現実の鏡」という表現をとおして美醜をとらえる力を育成する</li> <li>・学習シートに記入させる</li> <li>小グループで相互評価させる</li> <li>・学習シートに記入させる</li> <li>* 各自が選んだ表現をとおして、表現の適否・美醜をとらえる力を育成する</li> <li>小グループで相互評価させる</li> </ul>
終 末 1 0 分	7 まとめ 8 自己評価 9 次時の予告と課題提示	7 後半部の要点をまとめる ・相互評価し合った表現をもとに後半部の要点をまとめる 8 本時の学習について自己評価する 9 次時の学習内容を確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シートに記入させる</li> <li>・要点をまとめる際には、字数制限をする。(50字以内)</li> <li>学習シートで自己評価させる</li> <li>・次時への意欲を大切にさせる</li> </ul>

(3) 評価...後半部の表現の特徴から、筆者の意図をとらえることができたか。

11 展開案 < 第 4 時 >

(1) 目 標

・結論部の表現の特徴について理解し、文章の展開に即して筆者の考えをとらえることができる。

(2) 展 開

	学習過程	学 習 活 動	評価及び指導上の留意点
導 入 5 分	1 新出漢字等の確認 2 前時の想起 3 学習課題の把握	1 新出漢字等を確認する 2 他の生徒の言い換え表現を確認する 3 学習課題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">結論部の表現の特徴から筆者の考えを読み取ろう</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラッシュカードで確認させる</li> <li>・豊かな感覚を味わわせる</li> <li>・よりよい表現を身につけることをめざしていくことを確認する</li> </ul>
展 開 3 4 分	4 音読及び例示 (表現の正誤をとらえる力の育成)  5 課題追究 (表現の適・美醜をとらえる力の育成)	4 結論部(形式段落 21~23)を読み、よりよい表現について考える (1) 例文の正誤について理解する (2) 形式段落 21~23 を音読する  5 筆者の意図の込められた表現の効果について考える ・効果的に使われている表現を抜き出し、グループごとに相互評価する ・相互評価し合った表現を学級全体で確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 音読と例文の学習をとおして、表現の正誤をとらえる力を育成する</li> <li>・正確な音読を心がけさせる</li> <li>・学習シートに記入させる</li> <li>・学習シートに記入させる</li> <li>・各自が選んだ表現をとおして、表現の適否・美醜をとらえる力を育成する</li> <li>・小グループで相互評価させる</li> <li>・筆者の意図に気付かせる</li> </ul>
終 末 1 1 分	6 まとめ  7 自己評価  7 次時の予告と課題提示	6 結論部の要点をまとめる ・相互評価し合った表現をもとに結論部の要点をまとめる 7 本時の学習について自己評価する 7 次時の学習内容を確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シートに記入させる</li> <li>・要点をまとめる際には、字数制限をする。(50字以内)</li> <li>・学習シートで自己評価させる</li> <li>・次時への意欲を大切にさせる</li> </ul>

(3) 評価...結論部の表現の特徴から、筆者の意図をとらえることができたか。

12 展開案<第5時>

(1) 目標

- ・キーワードをもとに要旨をまとめ、筆者の考えをとらえることができる。

(2) 展開

	学習過程	学 習 活 動	評価及び指導上の留意点
導 入 5 分	1 漢字の確認 2 前時の想起 3 学習課題の把握	1 新出漢字等を確認する 2 生徒の言い換え表現を確認する 3 学習課題を把握する  キーワードをもとに要旨をまとめよう	・フラッシュカードで確認させる ・豊かな感覚を味わわせる ・よりよい表現を身につけることをめざしていくことを確認する
展 開 3 0 分	4 キーワードの選択(表現の適否・美醜をとらえる力を育成する)  5 要旨をまとめる	4 全文からキーワードを三つ選ぶ ・全文を黙読してキーワードを選ぶ ・それぞれ選んだキーワードについてグループで相互評価する  5 キーワードをもとに要旨をまとめる ・キーワードをもとに80字以内で要旨をまとめる ・要旨(キーワード)について学級全体で相互評価する	* キーワードの選択をとおして表現の適否・美醜をとらえる力を育成する ・学習シートに記入させる ・選んだ理由を説明できるようにさせる 小グループで相互評価させる  ・要旨をまとめる際には字数制限する(80字以内) 要旨(キーワード)について学級全体で相互評価させる
終 末 1 5 分	6 感想  7 学習のまとめ  8 自己評価	6 学習シートに感想を書く ・具体的に表現の特徴にふれ、筆者の意図について自分なりの感想を書く  7 表現の特徴について三つの視点からまとめる  8 本時の学習及び本単元の学習について自己評価する	・要点をまとめる際には、字数制限をする。 ・表現の特徴に対する意識の高まりを確認させる ・より良い表現をするためのポイントについて学習シートでまとめる 学習シートで自己評価させる

- (3) 評価...キーワードをもとに要旨をまとめ、筆者の考えをとらえることができたか。